

【平成28年度指定型研究(産学連携研究)】

脂質蓄積抑制作用を有する食資源の作用解明と食品開発に関する研究

栄養学科 岩井 邦久

研究の背景

- 肥満と生活習慣病の関係指摘→脂質の吸収抑制や体内の脂肪減少に役立つ食品成分が注目
- 青森県野辺地町ではカワラケツメイ (*Cassia mimosoides*) を乾燥し煎じたものを飲用→特産化を進めている
- カワラケツメイにリパーゼ阻害活性



A B C
カワラケツメイ・・・畑 (A), 生 (B), 焙煎鞘 (C)

目的

カワラケツメイの有用性を明らかにし、新たな加工食品や薬膳的利用に発展し得る有益なデータを創出する

1. 肥満マウスの脂質蓄積に対するカワラケツメイ鞘の作用の検討
2. カワラケツメイ鞘から未同定の活性成分の構造解析
3. 他の地域食資源から脂質代謝改善に役立つ活性の探索

結果

- 肥満型糖尿病マウス (KK-Ay) にカワラケツメイ鞘抽出物, S60を摂取
- 脂肪組織重量, 血漿中TCHO, TG濃度, 肝臓中脂質濃度が鞘により低下傾向
- カワラケツメイのリパーゼ阻害活性が作用発現に関与
- 過食等による脂質増加抑制に効果期待
- 鞘の活性成分を同定
- 他の地域食資源にリパーゼ阻害活性→新たな生理作用への展開期待



A B
鞘抽出物 (A), 鞘分画物S60 (B)